

地域医療構想における2025年に向けた対応方針

医療機関番号

4

医療機関名：

佐久市立国保浅間総合病院

1. 自院の現状

(1) 許可病床数（令和4年（2022年）7月1日時点）

①病床の種別毎の病床数

合計	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床
278	238	40	0	0	0

②病床機能毎の病床数

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中
278	0	183	55	40	0

(2) 医師・看護職員の職員数（令和4年（2022年）7月1日時点）

職種	医師		看護師		准看護師		看護補助者	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
人数	55	8.6	234	20.4	6	1.3	34	10.4

(3) 診療科目（令和4年（2022年）7月1日時点）

内科,循環器内科,糖尿病内科（代謝内科）,外科,循環器外科(心臓・血管外科),脳神経外科,整形外科,形成外科,小児科,産婦人科,眼科,耳鼻いんこう科,皮膚科,泌尿器科,精神科,歯科,歯科口腔外科,リハビリテーション科,放射線科,麻酔科,病理診断科

(4) 自院の特徴と課題

①特徴

国保直診の公立病院として佐久地方の地域医療・救急医療を64年間担ってきた。現在は急性期・回復期・慢性期及び在宅介護・医療をカバーするケアミックス型の地域医療を展開している。二次救急医療機関として年間1,600から2,000台の救急車を収容している。また、佐久医師会と協力し休日小児急病センター、平日夜間診療（現在休止中）も開設し運営をサポートしている。各診療科も主に急性期医療に重点を置いた診療を展開している。糖尿病科は開院以来の伝統を発展させ最新治療を提供するのみならず、教育施設として地域の人材育成にも貢献している。外科は主に消化器疾患の手術治療を担っている。産婦人科は域内の出産の約半数を扱い、需要の増加している不妊症治療にも注力している。循環器内科、脳神経外科でもカテーテル治療を中心にした急性期医療を展開している。小児科では小児感染症疾患の治療を中心に、発達外来、夜尿症外来など専門外来も展開して地域の需要に応えている。眼科では涙道疾患治療に特色があるが、主力の白内障手術は3か月待ちの状態である。歯科の障害者診療、訪問歯科診療も公立病院で担う事業と考えている。健康管理課でのコロナワクチン接種事業は27,000回を超え、内科のコロナ患者診療とともに地域のコロナ対策に貢献している。

②課題

特に内科医師の確保が難しく、通常業務の縮小や内科当直の休診日が生じる可能性がある。圏域の二次救急病院と連携して、輪番制の導入などを模索しながら、協力して地域医療を守る必要がある。若手医師の確保には将来性のあるビジョンや設備の提示が必須であるが、働き方改革を踏まえた、ワークライフバランスのとれた労働環境の整備も必要となる。

2. 今後の方針

(1) 自院の今後の方針

2025年・2030年を見据え、貴医療機関が圏域の中で担う役割について以下から該当するものを選択いただくとともに、具体的な今後の方針について記載してください。（該当する役割すべてに「○」、そのうち主たる役割を1つ選択のうえ「◎」を記載願います。）

今後の圏域における役割	回答欄
① 重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関	○
② 救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する急性期医療を担う医療機関	◎
③ 在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者	○
④ 回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関	
⑤ 長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関	
⑥ 特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科等）	○
⑦ かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関	○

【具体的な今後の方針】

急性期・地ケア中心の病院運営への転換を行う。また、地域の状況に応じ将来的な介護医療院への転換等について検討を行う必要がある。

(2) 2025年における非稼働病棟への対応

①非稼働病棟の有無（2022.7.1時点）

非稼働病棟の有無
無

②非稼働となっている理由

※ 上記設問の(2),①にて、非稼働病棟が「有」となっている場合に回答

③非稼働病棟における2025年の方針

※ 上記設問の(2),①にて、非稼働病棟が「有」となっている場合に回答

方針	
再稼働	←再稼働する場合、再稼働後の病床機能を選択（一部のみ再稼働する場合もこちらを選択）
廃止	←廃止する場合、こちらを選択（非稼働病棟を全床廃止する場合のみ選択）
検討中	←非稼働病棟の方針が未定の場合のみ選択

④ {再稼働} を選択した場合：再稼働後の当該病棟における役割等を記載（担う役割、医療従事者の確保見込み等）

{検討中} を選択した場合：方針が決まらない要因、いつまでに方針が決まる見込みかを記載

※ 上記設問の(2),③にて、「再稼働」・「検討中」を選択した場合に回答

(3) 2025年・2030年における許可病床数の予定

病床機能	2022.7.1時点 (A)	2025年 (B)	現在との差 (B-A)	変更時期1 (※)	2030年 (C)	現在との差 (C-A)	2025年との差 (C-B)	変更時期2 (※)
高度急性期	0	0	0		0	0	0	
急性期	183	162	-21	2025年4月	162	-21	0	
回復期	55	37	-18	2025年4月	37	-18	0	
慢性期	40	0	-40	2024年4月	0	-40	0	
休棟	0	0	0		0	0	0	
廃止		40	40	2024年4月	40	40	0	
介護施設等への転換		0	0		0	0	0	
合計	278	199	-79		199	-79	0	

※ 左欄で「0」以外の数値が入っている欄に変更予定時期を記入してください。(記入例：2027年7月)